1930.12.31.　P.M.[illegible]

市外上落合460
日本プロレタリア音楽家同盟
発行

一九三一年の用意は好いか!!

歩みそろへて倍大の熱で!

一九三一年はP.Mの最も記念すべき時だ! P.Mの躍進されて、より具体的な活動の農村へ! 工場へ! と叫ばれた年、一九三〇年われわれは多くの失敗と成功をなし得た。熱烈な労働者農民の支持を得た。そして労働者農民の革命的な行動に引きずられてゐたのだ! ただわれわれ[illegible]

資本家地主共はあらゆる所で暴圧の魔手を押しひろげてゐる、われわれの歌は極度の暴圧を到る所で数へて受けてゐるではないか! 一九三一年初頭から直に斗争へ、うつせ!

歌の不当禁止反対

尚われわれは今年の成果を充分なる批判に上せて一九三一年の斗争にそなへるのだ!

綜合技術批判会に依って技術の進歩を計れ!

音楽は音の特殊な技術をもって芸術運動の一分野を為す。文学、美術、劇、歌ふ技術、演奏技術、作曲する技術の必要なのは当然である。かゝる技術者が明確な政治的意識を持ってこそそこにこの運動の発展性があるのだ。作家ならば其の作品を通して、俳優ならばその公演を見て、画家ならば其の画かれた画に依って各々の人人の傾向進歩を見る事が出来るのと同じく、演奏家はその演奏に依って自分自身を示さなければならない。作曲家はその作品を通して見られるが演奏家[illegible]持つ[illegible]にしても演奏する技術が一でもないならば自己の内容が一しも現れないと言ふ不自然な結果になってしまふのだ。自分に自己の斗争心がある者ならば歌った斗争歌が自己の効果を見る様に歌ふ技術を高めなければならない。

この様な意味から綜合技術批判会を毎月一回持つ事にした。同志の勉強に益する事も多い、お互の厳格な批判で正しくわれわれの技術を進めるのだ!

明確な政治的意識と表現自由な演奏技術!!

合唱班員の、否全同盟演奏家の一人一人の持ってる演奏技術[illegible]らないのはこれだ! 殊に合唱班では今まで同盟員全部が合唱班に属してゐた為もあったり、大体が初心者で講師一任の形であったが合唱班のメンバーの改まった後新しく合唱班会議に於いて充分に技術に就いて[illegible]た。われわれは何の為にドレミファを練習する必要があるかと言ふ根本的な問題からわれわれの技術と言ふ事が討論された。技術とは高尚な[illegible]く一部の技術者とそれの理解出来るらしい愛好者とのみで鑑賞し得る様なブルヂョア音楽家の要な技術ではない。然しわれわれはわれわれの技術を獲得するのは目下の急務だ!

尚合唱班で日曜個人の練習を始めた。

1930年12月21日發行・P.M.ニュース　第二號

器樂班の踏ん張る時が来たぞ！

器樂班ではハーモニカを除いては移動音樂に使用出来る樂器がないためと技術の未熟なために不活潑の様に見えたが、愈ゝ来るべき来春の公開音樂会には其の活動を示す時だ！すでに作曲班では音樂会のために特に大きな器樂曲を作つてゐる。今までの練習の成果をそこへぶちまけるのだ！全エネルギーを自己批判と音樂会のための[illegible]練習へ集中しろ！今こそ器樂班の諸君の腕を振る時だぞ！

ピバ出動☆

青砥ピオ展へ出動したが、ここでは暴圧の嵐吹き全然展覧会も止めさせられてしまつた、この日四人の同志は雨をおかして行つたが元気な少年達に再会を約して空しくかへつた。

[illegible]爭議團へ出動、[illegible]の同志に依つて完全に團結の力を敎へて来たが、そのうたを好んで非常に上手にうたふ、勇敢な同志福田君は七日の拘留を食つて二十四日朝歸つて来た。

その他××消費組合ピオニールや柳島方面の少年たちと婦人同盟員によつて絶えずうたが教へられてゐる。

書記局ヨリ

☆このニュースは同盟の機関なんだ、それなのに今まではまるで書記局だけで出してゐる様なものだ。今度から同盟員研究生諸[illegible]カンゲイ[illegible]。PMニュースのために書け！

☆前から言つてあるのに無届で缺席する奴がゐる、其の辺の学校やクラブとは違ふんだ少し気を付けろ！男声に多いぞ。今度合唱練習には嚴格に出席をとる事にする。缺席する時は一應書記局へ通知しろ！合唱班会では練習時間嚴守を決議しても、終る時間は守られる様だが始まる時間はチットモ守られてゐないぞ！すべての集りは時間絶対嚴守しろ！

第一回 綜合技術批判会

日時・一九三一年一月四日（日）・午後三時・

場所・四谷區旭町 二葉保育園ニテ・

歌ふ者は声を張り上げろ、ヴァオリニストは弓をとれ、ピアノ弾きは鍵盤たゝけ、ハーモニカを吹く者はハーモニカで、自分の屬してゐる班の技術の最も嚴密な批判へ進め直ちに自分の演奏のプログラムを送れ！

この批判会の後で茶話会を開く、会費・金三十銭（當日自參）この茶話会には最近ザヴェートから歸朝した作家中條百合子女史が特に出席されてザヴェートの音樂の話をされる。

全同盟員・研究生諸君。

一九三一年最初のわれわれの前進だ！

進め！